Twinkle 東京女子医科大学学術リポジトリ
Tokyo Women's Medical University - Information & Knowledge Database
https://twinkle.repo.nii.ac.jp

Effects of Landiolol Administration under Remifentanil Anesthesia on Heart Rate and Sympathetic Nervous Activity: A Single Blind, Randomized Control Study

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2020-12-21 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 佐久間, 潮里 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032654

様式（6）

学　位　審　査

学　位　番　号	乙　第 3067 号	氏　　名	佐久間　潮里
審　査　委　員　会	主　査　教　授	萩原　誠久	

論文審査の要旨（400 字以内）

本研究では，不整脈を持たない患者において術中の超短時間作用型β遮断薬投与が術後の交感神経機能に影響を与えるか否かを検討した。術前後の心電図 R-R 間隔の解析から低周波数帯/高周波数帯パワー比（以下 LF/HF 比）を用いて検討した。待機的腹腔鏡下腎摘出術患者 20 名に対して全静脈麻酔下に術中短時間作用型β遮断薬ランジオロールを漸増的に投与した。術前後にホルター心電図を装着しそのデータより、LF/HF 比を算出し比較した。術後ランジオロール投与群 1.84±0.79 ではコントロール群 2.68±1.66 と比較して有意に LF/HF 比は低値を示した。今回の結果，ランジオロールの術中投与は薬理学的効果がすでに消失している時相にも係わらず，術後の交感神経抑制作用があると考えられた。

本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に医学部学務課へご提出下さい。（本学学会雑誌に公表）[学校教育法学位規則第 8 条]